

令和6年度 石橋北小学校第1回学校運営協議会議事録

令和6年5月10日(金)

於 校長室

【本日参加者】 11名

・学校運営協議会委員(8名)

大塩宗里 青柳庄一 齊藤司朗 竹内美千子 野口文夫
寺内利之 齋藤佳代子校長 金久保貴子地域連携教員

・地域学校協働活動推進員 熊倉博美

・事務局 五月女穰教頭 澤田貴典教務主任

開会

○ 任命書交付

1 校長あいさつ

・今年度もスタートし、約1か月が過ぎ、新1年生18名も、今年度着任した教職員も、少しずつ学校生活に慣れてきたところである。5月に入り、1年生歓迎会の全校遠足は、雨天により1週間延期後、結局校内での実施となった。本来ならとちぎわんぱく公園で行うはずであったが、逆に、それは印象に残る全校遠足になったと思う。これも、昨年度コロナ5類になったからこそ、校内でできた行事であった。昨年度より、従来通りの活動に戻ってきたものも多くなった。継続して、子どもたちの命・安全を第一に考え、教育活動にあたっていこうと思う所存である。

・今後も、子どもたちの健やかな成長のために、地域のお力をお借りして、共に育てていきますようよろしくお願いします

2 自己紹介

3 会長選出・組織

(会長) 大塩宗里
(副会長) 青柳庄一
(環境整備支援部) 齊藤司朗 野口文夫
(学習支援部) 青柳庄一 大塩宗里
(図書活動支援部) 竹内美千子 齋藤幸紀
(防犯支援部) 寺内利之 橋本 織

4 協議内容（進行・・・会長）

校長

（1）石橋北小学校 学校運営協議会運営規程について

- ・下野市学校運営協議会運営マニュアルと石橋北小運営規程があり、市のマニュアルをもとに、石橋北小学校の運営規程があります。
- ・市のマニュアル 第2条（目的）と本校の第3条（目的）について同じ目的、ビジョンを共有しながら地域の学校として運営することを目的としている。
- ・市のマニュアル 第6条（運営に関する評価）・・・年1度の評価
- ・市のマニュアル 第9条（守秘義務）の確認

会長

・我々は運営協議会委員として、学校運営をスムーズに行えるために建設的な意見を出す役割である。承認はいかがか。

委員

承認

校長

（2）石橋北小の教育（学校概要・経営方針）について

【学校目標】心豊かな子 進んで学ぶ子 健康でたくましい子

【目指す子ども像】豊かな心をもち助け合う子ども

自ら考え進んで学ぶ子ども

明るく健康でたくましい子ども

【目指す教師像】子どもたちのために何ができるかを常に考え実践する教師

【概要】

- ・心の教育が最初に掲げてある。豊かな心の育成を基盤に、確かな学力や健康・体力を育みたいと考えている。
 - ・児童数：通常7学級 今後、単学級になるだろう。
特別支援学級 2学級 合計166名
昭和61年度341名 平成12・13年153名
少子化を感じさせるグラフになっている。
 - ・職員構成：県費負担職員18名 市費負担職員5名 新採1名
初任者指導担当兼後補充 1名
欠員なしでスタートでき、年齢構成のバランスも良い
 - ・石北小の当たり前：10番まである。誰でもできることを実践できるような力を入れたい。（市のスローガン「当たり前のことを当たり前にする」）
- ☆重点：1 あいさつは自分からしましょう。
2 あいての気持ちを考えましょう。
3 あきらめずに（勉強・運動・行事・係活動）がんばりましょう。
- 3A委員会を中心に推進している。自分から挨拶することはもっと頑張れると期待している。

- ・今年のスローガン：優しさと笑顔の学校～凡事徹底・凡事一流～

【具体策】

○豊かな心をもち助け合う子ども

- ・あいさつ運動の実施・・・児童主体の活動 3A運動の推進
- ・人間関係作り・・・縦割り班(レインボー班)活動の充実
- ・児童の活動の場の拡充
- ・ふれあい学習の充実
- ・道徳の時間での人権を尊重する心の育成
- ・読書活動の推進
- ・児童の取組紹介（パワーポイントでの説明）
3A委員会での話し合い・レインボータイム・花育・ふくべ細工体験活動・
地域の方の読み聞かせ・図書委員の読み聞かせ

○自ら考え進んで学ぶ子ども

- ・学び合いのよさを実感できる対話型の授業作り
(互いに授業を見せ合う一人一授業の実践・講師を招いて研究会の実施)
- ・生きて働く知識・技能の習得
(きめ細やかな指導・ICT機器の有効活用)
- ・言語活動や体験活動の充実
- ・児童の取組紹介（パワーポイントでの説明）
学び合い（話し合い活動）の様子・ICTの活用（授業の様子）・作文発表（給
食の時間に発表）

○明るく健康でたくましい子ども

- ・体力向上：スポーツタイム・持久走・なわとび集会の実施
- ・健康安全教育の充実：規則正しい生活・食育の推進
「自分の身は自分で守れるよう」
- ・児童の取組紹介（パワーポイントでの説明）
体育の授業・サーキットトレーニング・持久走の様子、食育・避難訓練（予
告なし）防犯教室（留守番中の電話の対応）
- ・家庭での協力依頼：規則正しい生活の習慣化

本年度、本校職員23名で、子ども達のために、全教職員一丸となって教育活動を進めていきたいと思う。

- ・「認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくり」
- ・「子ども達が、明るく、元気で、学校へ来るのが楽しい！」

そんな学校づくりに努めていきたいと思う。そのためにも、学校と家庭、地域が同じ方向を向き、お互いに協力し合い、子どもたちを育てていくことが大切であると考えている。そして、夢と希望をもち、子ども、保護者・地

域、教職員が、共に伸びる学校を理想としていく。本年度も、どうぞご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

【今年度変更点】

1 日課表・・・下校時刻を15分早めた

3年 後期より月曜日5時間

4年以上 クラブ・委員会のない金曜日 5時間

※文部科学省からの適切な授業時数の見直しの指導により予備時数減

2 給食当番のみエプロン・三角巾

3 リーバー 体温入力カット

4 留守番電話の導入

5 すぐーでの資料送信 ※市教育委員会からの指導

6 通学路変更（上原地区）（若南地区も一時期）

（3）質疑

○学校経営の概要について

会長

・児童数の変化について来年度はどうか？

校長

・来年度の予想は24名。次年度も1クラス程度。全学年単学級となりそう。

・メリット：教室内で目が届きやすい。スペースもある。

さみしさもある。

・1クラス35名、36名で2クラスになる。

・クラス替えのない子どもたちの実態には、レインボー班の活動は、縦に繋がりがり友だち関係を広げることや成長に役立っている。今日の田植えでの6年生と1年生の関わりにも現れていた。

○基本計画について

会長

・人前での意見を言うことへの苦手感。

委員

・大人になってもあまり変わらない。自分の経験では、言えるようになる背景は、失敗を恐れないこと。発表できたことの良さを認めて、褒め言葉で伝え自信をつけさせられればと思う。間違ってもよいと教えていけると、発表しやすくなるのでは。大人になって役立つと思う。

校長

・居がいのある学級作りが大切。市のこども未来プロジェクトでも環境作りやクラス作りをテーマとして小中をつないでいる。経験談からお話をいただいたことは、子どもたちにも伝えるべきお話だと思う。

会長

・子どもによっては勇気の出ない子どももいる。苦手な子どもたちが少しでも意見を言える雰囲気作りができればいいですね。

- 校長
- ・大人もそうである。職員間も風通しの良い雰囲気作りが大切。
- 会長
- ・石橋地区内でも目標の徳・知・体で最初が徳というのは、特筆すべきこと。心を前面に出している。努力点具体策までであることが素晴らしい。子どもたちは、自分の意見を述べやすくなる雰囲気ができつつあるのではないか。
- 委員
- ・先ほど発表力について話があった。自分のやったことを文章に書いて発表することは必要だと思う。自分の書いたものを発表するという訓練が必要だと思う。やっていないと引っ込み思案になってしまう。授業の中で発表の時間を多くしていくと子どもが生き生きしていくと思う。
- 会長
- ・読み聞かせをやっていてどうか。
- 委員
- ・とても活発である。人数が少ないことが自分の意見が言えないことは感じない。石北小の子どもは、お互いに発言しやすい雰囲気をもっている。読み聞かせをしたときに、石北の子は反応してくれる。意見も言えている。それを交えながら読み聞かせをしている。活発なように感じている。授業も自分の考えを言い合う授業が多かった。好ましく思う。
- 委員
- ・朝と帰りに歩く中で、子どもと話すようにしている。話すとその子の性格が分かる。時には、違うことは違うと言われてしまう。会話の中で交わることもあるかなと思って話している。
 - ・通学路が変わり、班長が1年生の面倒を見ている。1年生に合わせて班長が動いてくれている。だめなときにはだめだと言っている。
 - ・会話を聞いていると、大人だと思ふことがある。話すことでは、そんなに心配なことはないと思う。ある意味、しゃべらない子が心配であったり、使っている言葉が心配であったりすることがある。
- 委員
- ・通学路が変わったが、交通量はどうか。
- 委員
- ・石橋から宇都宮に行く車両は少ない。宇都宮から石橋に向かう車両は多い。スピードも速い。怖いぐらいである。
- 委員
- ・事故が心配である。交通量が激しくて、歩道があるが大丈夫なのかと心配になる。
- 委員
- ・風にあおられるときなどが心配である。今のところ、先生方が指導してくださっているので縁石に乗る子はいない。

- 委員 ・ 縁石はあるが、自分が運転していても怖いと思う。ポールでもあればよい。
- 委員 ・ それがあると理想である。
- 委員 ・ ガードレールがあるともう少し安心になるが、縁石だけでは危ない気がする。
- 委員 ・ 黄色い旗を車道の方に出して歩いている。少しは違うかなと思っている。
- 委員 ・ 県道であるが、通学路としてガードレールを要望できるのか。
- 校長 ・ 要望ができる会議はある。以前の通学路の補修の要望を出していたが、なかなか要望は通らなかった。通学路の検討を提案され、上原地区の育成会にも相談し歩く道を決めてもらい、通学路を変えることになった。要望はできるが時間がかかる。
- 委員 ・ 以前、信号機の設置の依頼をしたが、予算や信号機の数に限られているなどから、警察から難しいと言われた。実施が難しく通学路を変更することになった。
- 委員 ・ 育成会長から危険箇所を教えてほしいと言われ、一緒に歩いた。これから草が生えてくる部分がある。市へ空き地の草刈りの希望を伝えて、即決してほしいと思う。
- 委員 ・ メイン道路は、勝手には草刈りにくい。以前、事故が起きて今はやれていない。
- 会長 ・ 自治会からの要望や、議員からの要望をしていくことがよさそう。
- 会長 ・ 十字路の横断旗は役に立っているか？
- 委員 ・ 上原は、信号のところは使っている。横断旗をあげても、通勤の車は止まってくれないことがある。
- 会長 ・ 市民会議から場所によって使われていないと言われているが、使っているならこれからも続けていきたい。
- 委員 ・ 文教通りの突き当たりのT字路はよく使っている。痛んだときに交換をお願いした。下校の時、子どもたちだけで下校するときに使っているようだ。

- 委員
- ・個性を生かしてほしい。自分の好きなことに取り組めるようになってほしい。いい個性を引き出して育ててほしい。重点的に取り組んでほしい。応用力も必要と感じる。生きる力として育ててほしい。
 - ・今は、子どもの情報力もかなりある。いろいろな情報が入っているから気をつけて見守っていかないとと思う。
- 会長
- ・今年になっての変更項目はいかがか。
 - ・縦割り班活動は大きなメリットをもっている。
- 委員
- ・子どもの社会において、学校活動の中で縦割りは重要に感じた。
- 校長
- ・コロナを経験しているから、人と絡むことが足りなかったと感じる。大切な時期がコロナだったと感じる。経験しないで来てしまったと感じている。
- 会長
- ・子どもたちも変わっていることに気をつけなくてはならない。
 - ・通学路の問題が大きくなってくると思う。
- 会長
- (4) 承認
- ・学校経営についての提案を承認していただけるでしょうか。
- 各委員
- ・承認。
- 校長
- ・承認していただきありがとうございます。
- 教頭
- ・次回予定
第2回：11月29日(金)
第3回：2月7日(金)
- 推進員
- ・地域学校協働推進について
 - ・地域との関係を具体的に決めて、体制を整えているのは石橋北小学校だけである。また、学校経営方針で心の教育を1番にもってきているのは石橋北小学校だけである。心の教育は本当に難しいと感じている。今までの教員生活から、一緒に活動して褒めてあげることが大切と感じているので、石北小の今後を楽しみにしている。
- 【資料について】
- 1 地域学校協働推進員配置・・・学校運営協議会は7年目になる。
 - 2 主な業務・・・アドバイザー的存在、一緒に勉強させていただく。
地域学校協働本部設立において
 - 3 石北小での主な活動・・・地域とともにある学校作り
ボランティア活動での地域支援等

協議会の理解促進等

- 4 今後の事業について・・・「ママナビ」実施(名称変更あり)
「庭園管理実践講座」今後実施検討

閉会